

【日本郵船グループ 環境経営ビジョン】

環境リスクを管理し、環境と経済のベストバランスを目指しながら、地球環境と持続可能な社会に貢献します。

【3つの戦略】

- 戦略1. 温暖化ガス排出削減の実践
- 戦略2. 地球環境保全活動による社会貢献の推進
- 戦略3. グループ環境経営の強化

【日本郵船グループ 環境マネジメントシステムの適用範囲】

1. 鉄道やトラック等の内陸輸送、それに付随する倉庫保管を含む国際海運事業
2. 客船事業
3. コンテナターミナル事業
4. 船舶管理事業
5. 海洋事業
6. 航空貨物事業
7. 海上および航空フォワーディング事業及びコントラクトロジスティクス事業
8. 曳船事業
9. IT事業
10. 歴史博物館事業
11. リサイクル事業

【日本郵船グループ 環境方針】

1. 企業活動が地球環境に与える影響を考慮し、必要な目的・目標を定め、これらを定期的に見直し、継続的な改善を図ることにより、海洋・地球環境・生物多様性の保全に努めます。
2. 安全・環境に関する法律・規制等の遵守はもとより、積極的な自主基準の制定・運用に努めます。
3. 運航船隊の安全確保をはじめ、内陸・内水及び航空輸送を含む全ての輸送モード、並びにターミナル、倉庫など海・陸・空に広がるサービスの安全確保に努めます。
4. 省資源、省エネルギー、廃棄物削減、リサイクル等に取り組み、特に温室効果ガス、オゾン層破壊物質、有害物質等の排出を抑制・防止します。
5. 船舶・航空機をはじめとする輸送機器、荷役機器、資材などの調達による環境負荷を出来る限り小さくすることに努め、環境にやさしい技術等の採用を推進します。
6. 社内広報活動・環境セミナー等を通じて、社員一人ひとりの環境意識を高め、会社の環境方針を浸透させます。
7. 社会との対話を密にし、積極的な環境情報開示、環境保全活動への助成・支援に努めることで、広く社会に貢献します。

2001年9月1日制定
2009年4月1日改訂
2017年4月1日改訂
2017年12月1日改訂